

磐梯町 橋梁長寿命化修繕計画



薬師橋

令和4年3月

(令和4年12月：一部改訂)

(令和7年 1月：一部改訂)

福島県耶麻郡磐梯町

— 目 次 —

I. 様式1-1

※ () は「道路メンテナンス事業補助制度」
における補助要件

1. 長寿命化修繕計画の目的	1	—国土交通省— インフラ長寿命化 基本計画における記載事項
2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁	3	1. 対象施設
3. 健全度の把握及び日常的な 維持管理に関する基本方針 (・老朽化対策における基本方針) (・新技術等の活用方針)	6	2. 計画期間
4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替え に係る費用の縮減に関する基本的な方針 (・費用の縮減に関する具体的な方針)	8	3. 対策の優先順位の考え方 4. 個別施設の状態等
5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期 及び修繕内容・時期又は架替え時期 (・構造物の諸元・直近の点検結果及び次回点検年度) (・対策内容・対策の着手、完了予定年度) (・対策に係る全体概算事業費)	10	5. 対策内容と実施時期 6. 対策費用
6. 長寿命化修繕計画による効果	10	
7. 計画策定担当部署及び意見聴取した 学識経験者等の専門知識を有する者	11	

II. 様式1-2

対象橋梁ごとの概ねの次回点検年度 及び対策内容・着手時期又は架替え時期	12	
--	----	--

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 磐梯町の現状

福島県会津盆地の北東部に位置する磐梯町は、北に霊峰磐梯山や猫魔岳などの山並みが連なり、その山々の南山麓を扇状に広がる丘陵地、町中央部を流れる大谷川や町の南縁を流れる日橋川に沿って田畑や居住地を構成する、人口3,213人（令和4年11月1日現在）、面積59.77km²の町です。

町の気候は日本海型気候で夏季はしのぎやすく、冬季間は積雪量が平均で60cm程度ありますが、交通網は常時確保されており、日常生活や事業活動に問題はありません。

町には4本の県道が整備されており、磐越自動車道の磐梯河東ICが町の至近に位置することから、総延長88.06kmの町道は県道やICにアクセスする生活道路や農耕用の道路、磐梯山やスキー場など観光地へのアクセス経路として利用されています。

町道として管理される橋梁は33橋ありますが、JR磐越西線を跨ぐ重要度の高い跨線橋を2橋有していることが特徴となっているほか、管理橋梁数が少ないことなどが特徴となっています。また、橋梁の補修工事等に早くから着手し、積極的な維持管理を行っていることなども特徴となっています。

福島県内市町村位置図



2) 背景

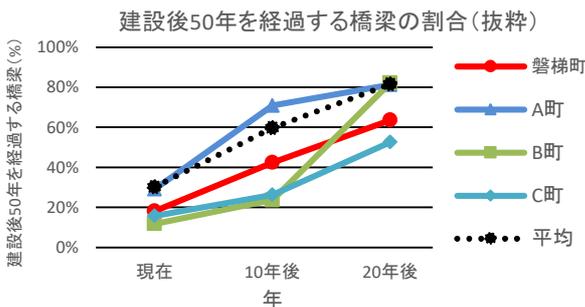
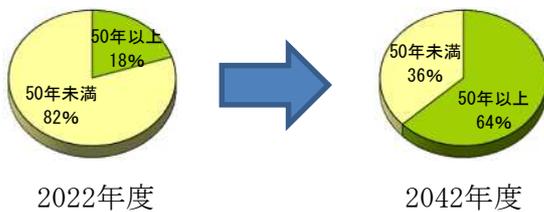
磐梯町の管理する橋梁33橋の中で、2022年時点で建設後50年以上を経過する橋梁は全体の約18%ですが、10年後の2032年には42%、20年後の2042年には64%に増加します。

これらの高齢化を迎える橋梁群に対して、従来の対症療法型の維持管理を続けた場合、橋梁の修繕・架け替えに要する費用が増大となることが懸念されます。

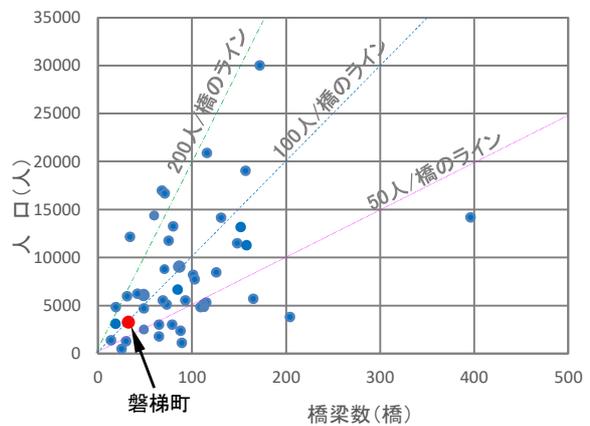
近隣町村との比較

町村名	面積 (km ²)	人口 (人)	人口密度 (人/km ²)	橋梁数 (橋)	橋梁の密度 (橋/km ²)	一橋当りの人口 (人/橋)
磐梯町	59.77	3213	53.8	33	0.55	97.4
会津若松市	382.97	114687	299.5	611	1.60	187.7
猪苗代町	394.85	13169	33.4	152	0.38	86.6
北塩原村	234.08	2493	10.7	49	0.21	50.9

人口は2022年現在



福島県内市町村(抜粋)の人口と橋梁数の関係

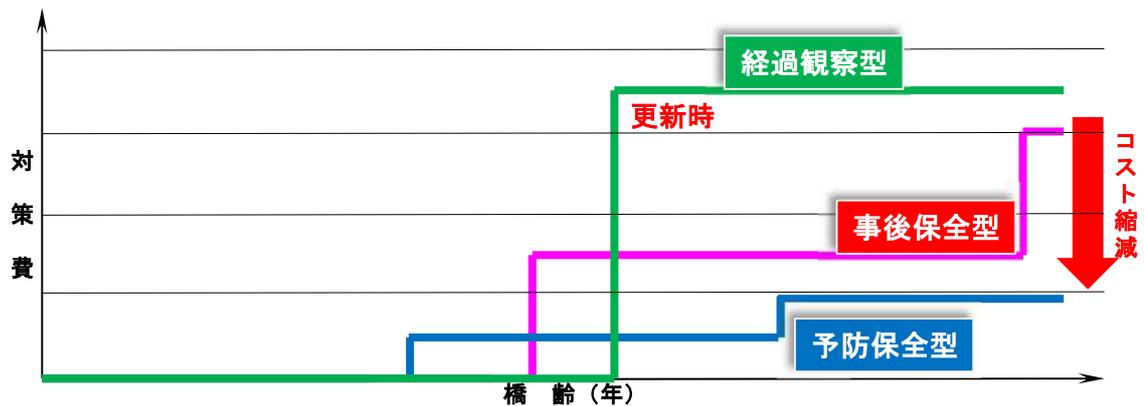
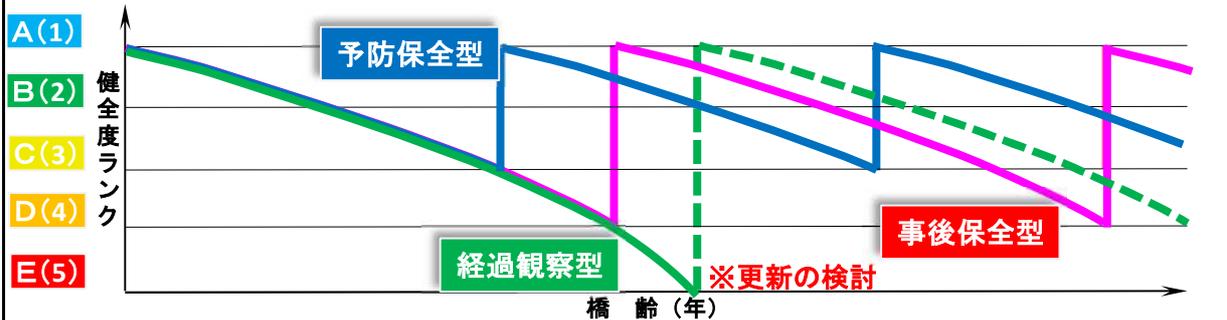


3) 目的

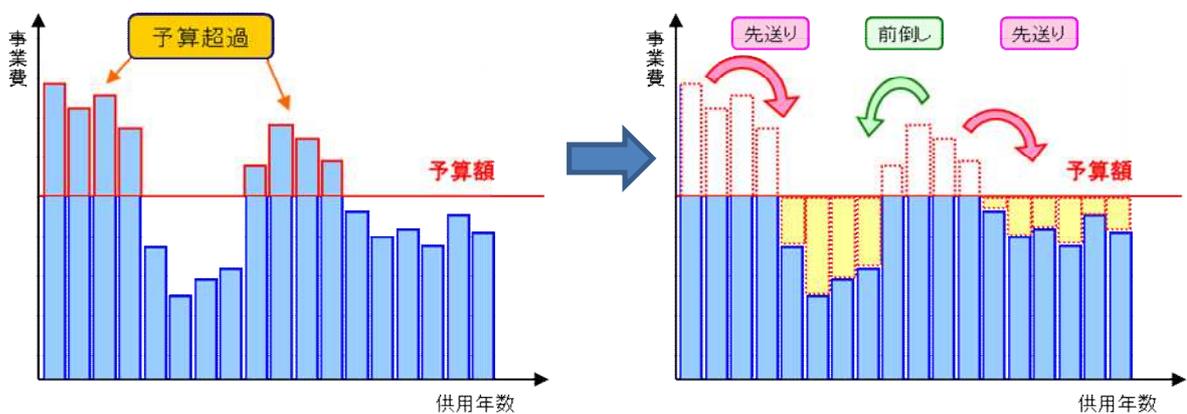
このような背景から、より計画的な橋梁の維持管理を行い、限られた財源の中で効率的に橋梁を維持していくための取り組みが不可欠となります。

将来にわたり橋梁を保全・維持するためには、費用のかかる架替えが一時期に集中しないように長寿命化修繕計画を策定して、財政負担を低減・平準化する必要があり、コスト削減のためには、従来の事後保全型（対症療法型）から、“損傷が大きくなる前に予防的な対策を行う”予防保全型へ転換を図り、橋梁の寿命を延ばす必要があります。

そこで磐梯町では、将来的な財政負担の低減および道路交通の安全性の確保を図るために、橋梁長寿命化修繕計画を策定します。



対策シナリオのイメージ

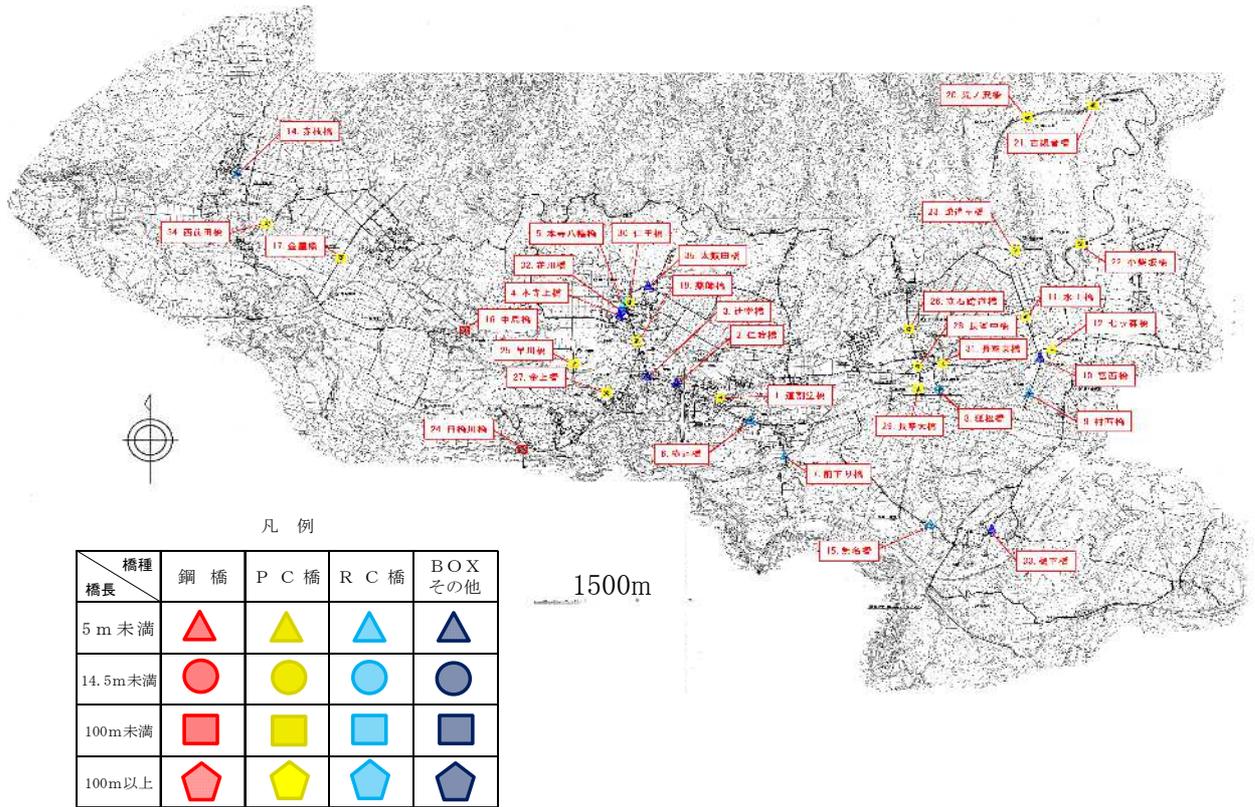


予算平準化のイメージ

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁
 (1. 対象施設)

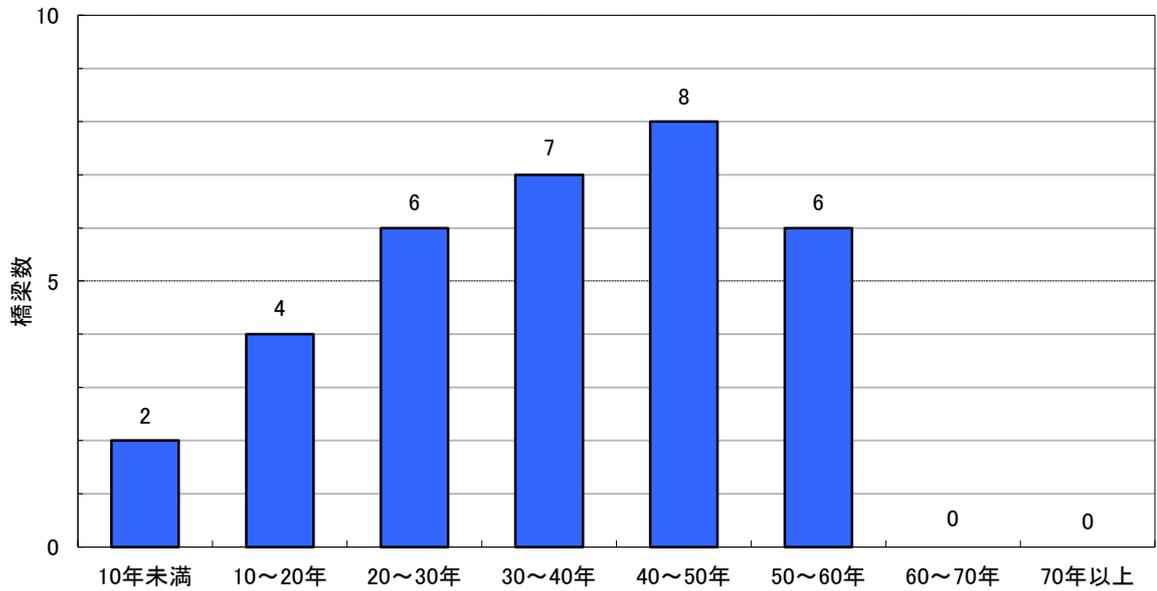
	町道 1級	町道 2級	町道 その他	合計
全管理橋梁数	6	8	19	33
うち計画の対象橋梁数	6	8	19	33
うちこれまでの計画策定橋梁数	6	7	15	28
うち令和4年度計画策定橋梁数	0	1	4	5

※長寿命化修繕計画の対象：磐梯町が管理する橋長2m以上の33橋を対象とします。



対象橋梁位置図

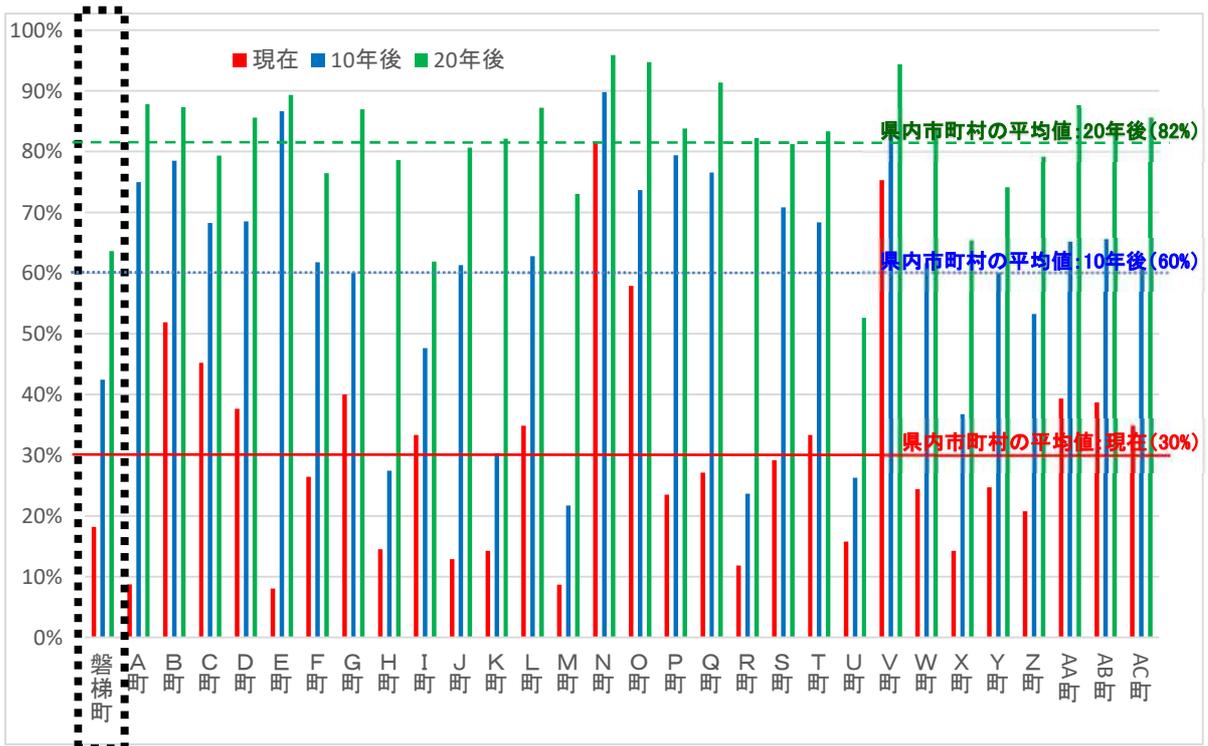
経過年数別橋梁数



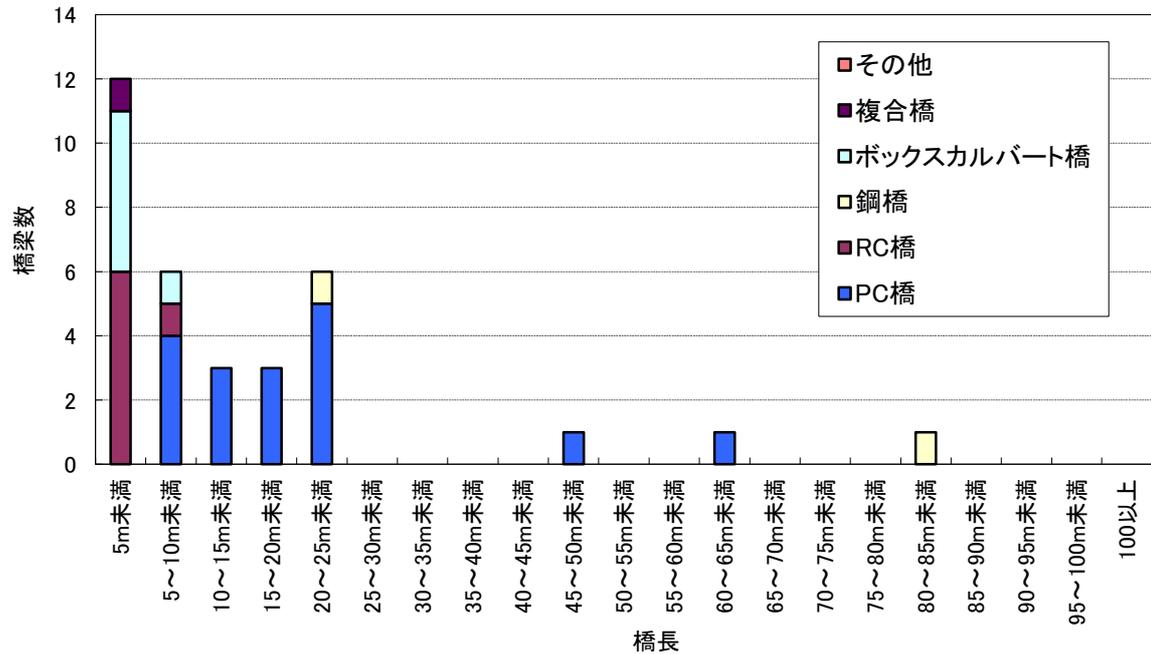
経過年数別橋梁数

※長寿命化修繕計画で対象としている33橋のうち、建設後50年以上を経過している橋梁は6橋あり、全体の18%を占めています。

県内市町村（抜粋）の建設後50年以上を経過する橋梁の割合

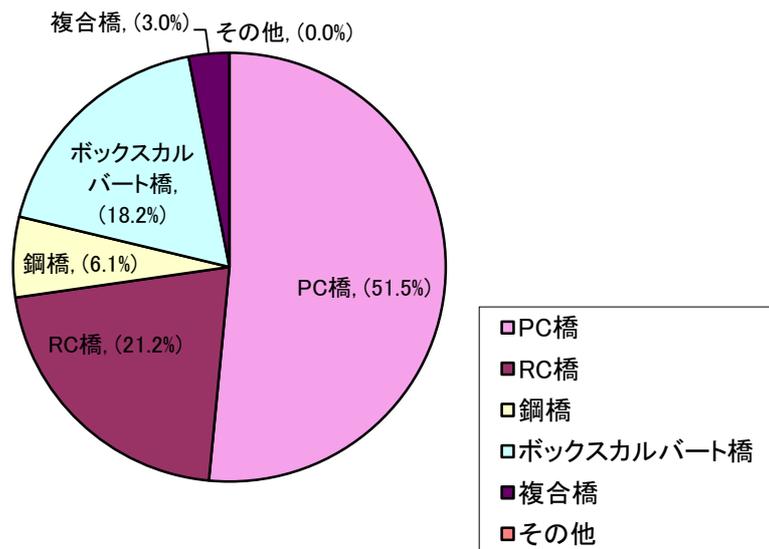


橋長別橋梁数



※長寿命化修繕計画で対象としている33橋のうち、15m以上の橋梁が12橋あり全体の36%を占めています。

上部工使用材料別橋梁数の比率



※上部工使用材料別ではPC橋が17橋で全体の約52%、RC橋が7橋、ボックスカルバート橋が6橋、複合橋はボックスカルバート橋+RC床版橋が1橋で、コンクリート橋が全体の94%を占めています。鋼橋は2橋となっています。

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針
(2. 計画期間)

1) 健全度の把握の基本的な方針

(・老朽化対策における基本方針)

健全度の把握については、国土交通省道路局の「道路橋定期点検要領」（平成31年2月）に基づいて、専門技術者による5年に1回の定期点検及び健全性の診断や、必要に応じて行う詳細点検により、各部材の劣化や損傷の程度などを早期に把握します。

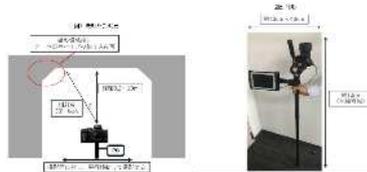
(・新技術等の活用方針)

定期点検における近接方法については、新技術情報提供システム（NETIS）や点検支援技術性能カタログなどを参考に、有用な新技術の活用を検討していきます。

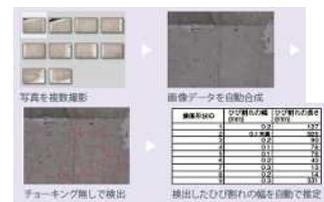
特に、令和13年度までに実施される橋梁定期点検時に、前回点検において診断区分が「I」となった比較的損傷が軽微な小スパン橋梁（橋長5m程度の床版橋や溝橋）の1橋程度については、画像解析及びAI診断等の活用を検討し、点検費用10万円程度のコスト縮減及びとりまとめ作業の効率化を図ります。また、BT-400（大型橋梁点検車）を使用した2橋については、ゴンドラ車やドローン等の活用を検討していきます。



ドローンによる桁下の点検



デジタルカメラによる溝橋の点検



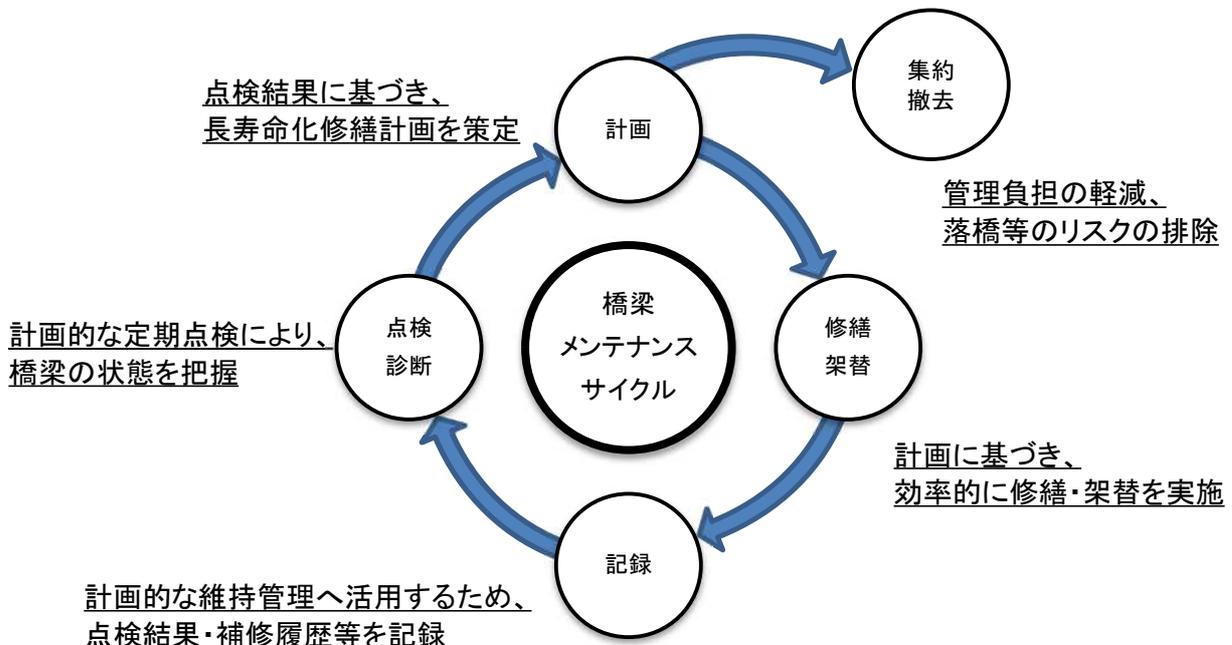
AI・画像診断

橋梁点検における新技術の活用例：（出典）国土交通省「点検支援技術性能カタログ」

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

利用者の安全性の確保及び橋梁を良好な状態に保つために、町職員及び委託業者によるパトロールを実施し、排水桝清掃や舗装の軽微な補修等の日常的な維持管理を行います。

橋梁メンテナンスサイクル 概念図



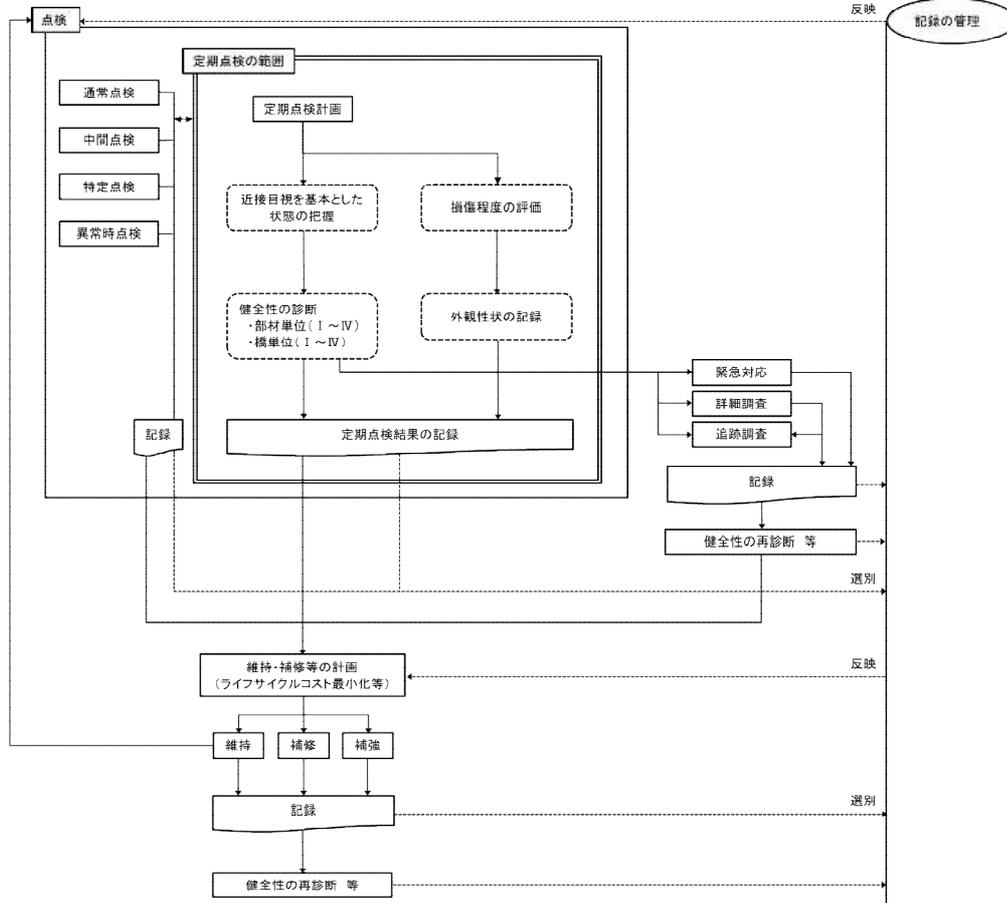
3) 計画期間

5年に1回の定期点検結果を基に中長期的な予測を行い、今後50年間の橋梁長寿命化修繕計画を策定します。（計画期間：2023年～2072年）

3. 健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

参考：橋梁維持管理の基本的な考え方

維持管理の手順（フローチャート）



出典：橋梁定期点検要領（国土交通省 道路局 国道・技術課、H31.3）を一部修正

点検の種類

通常点検	突発的に生じる不具合や損傷を早期に発見するために、高い頻度で行われる点検。日常巡回やパトロールと合わせて行ったり、巡回やパトロールそのものがこれを兼ねるものと位置づけられる場合もある。
定期点検	橋梁の損傷状況の把握及び健全性の診断をあらかじめ頻度を定めて計画的に実施する詳細な点検。全ての部材に近接して目視調査を行うことが基本であり、必要に応じて非破壊検査機器なども用いて必要な情報を得る。
中間点検	定期点検を補うために、定期点検の中間年に実施するもので、定期点検時に、次回の定期点検まで待たずに途中で状態確認を行うことが必要と判断された場合に計画される。
臨時点検	塩害やアルカリ骨材反応、鋼部材の疲労等の定期点検のみでは適切かつ十分な評価が困難な特定の事象に対して、定期点検とは別に、それぞれの事象に特化した内容によって行われる点検。
異常時点検	地震、台風、集中豪雨、豪雪等の災害や大きな事故が発生した場合などに、橋梁の状態を確認するために臨時で行われる点検。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架替えに係る費用の縮減に関する基本的な方針
 (3. 対策の優先順位の考え方)

磐梯町が管理する橋梁の中で、架設後30年以上経過した橋梁は全体の約64%を占めているため、近い将来一斉に架替時期を迎えることが予想されます。したがって、計画的かつ予防的な修繕対策の実施へと転換を図り、橋梁の寿命を100年間とすることを目標とし、修繕及び架替えに要するコストを縮減します。

1) 管理区分の設定

修繕計画策定にあたり、橋梁の諸元情報（橋長や幅員等）や重要度を考慮した管理区分を橋梁毎に設定します。

管理区分の定義

管理区分	該当橋梁	補修時期	寿命	点検方法		簡易予防保全	
				日常巡回 ※2	橋梁点検 (1回/5年) ※3	橋面 洗浄	桁 洗浄
S 本格予防 保全型	・跨線橋 ・跨道橋 ・橋長100m以上 ・重要度(※1) 該当3つ	健全度ランクD(4) にしない	原則架替え は行わない	○	○	② ※4	②
A 予防保全型	重要度該当2つ	健全度ランクD(4) にしない	100年	○	○	⑤	⑤
B 事後保全型	重要度該当0 または1つ	健全度ランクE(5) にしない	60年	○	○		⑤
C 経過観察型	・重要度該当0 かつ ・カルバート橋 ・5m未満橋梁 ・仮橋 ・橋梁以外の形式	健全度ランクE(5) になるまで	耐用年数 まで	○	○		
備考	※1「重要度」 ①緊急輸送路 ②1,2級市町村道 ③バス路線		特殊橋梁は 橋梁ごとに 設定	※2「日常巡回」は、排水機の 清掃及び畜産面の堆積土砂 除去を実施(費用は計上せ ず) ※3橋梁点検費用は計上		※4簡易予防保 全費用を橋梁ごと に計上する ②:2年に1回 ⑤:5年に1回	

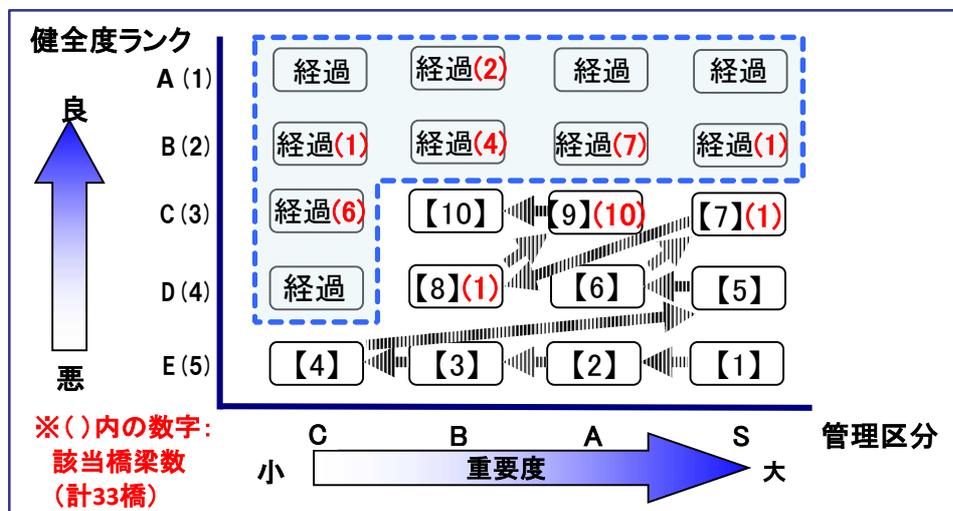
(・費用の縮減に関する具体的な方針)

磐梯町が管理する1m程度の水路を跨ぐ小規模橋梁については、対策が必要となった時点でボックスカルバート（溝橋の定義外）や横断暗渠への架け替えも検討して、補修費や点検費等の縮減に努めていきます。 ※検討する橋梁：6.横達橋、15.無名橋（管理橋梁の点検費用約5%縮減）

また今後5年程度で、迂回路が存在し集約が可能な橋梁（狐松橋）について、集約化・撤去を検討し、将来的な維持管理コストを40百万円程度縮減することを目指します。

2) 優先順位のつけ方

優先順位は以下の区分図により管理区分と主要部材の健全度の関係から設定します。



3) 橋梁毎の点検結果 (4. 個別施設の状態等)

3-1) 定期点検結果

磐梯町は令和3年度、令和4年度に近接目視による定期点検及び橋梁毎の健全性の診断を行いました。橋梁毎の点検結果は以下のとおりです。

定期点検結果一覧

番号	管理番号	橋梁名	橋長(m)	径間数	上部工 使用材料	上部工 構造形式	車道 幅員 (m)	竣工年	経過年	前回 健全度 区分	今回 健全度 区分	今回 健全度 ランク	部材 種別	適用
1	0008	狐松橋	7.02	1	RC橋	RC T桁	4.07	1965	57	III	III	D(4)	下部工	洗堀
2	0026	立石跨線橋	23.90	1	PC橋	プレテン中空床版	7.50	1998	24	II	II	C(3)	床版	漏水・遊離石灰
3	0019	薬師橋	24.20	1	PC橋	ボステンT桁	7.50	1988	34	I	II	C(3)	横桁	変形・欠損
4	0010	宮西橋	4.30	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	7.20	1975	47	II	II	C(3)	頂版、側壁	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
5	0012	七ツ森橋	10.40	1	PC橋	プレテン床版	6.00	1975	47	II	II	C(3)	床版	漏水・遊離石灰
6	0009	村西橋	2.78	1	RC橋	RC 中実床版	6.00	1975	47	II	II	C(3)	下部工	ひびわれ、漏水・遊離石灰
7	0022	小柴坂橋	62.30	3	PC橋	ラーメン橋	8.00	1992	30	II	II	C(3)	下部工	ひびわれ、漏水・遊離石灰
8	0020	滝ノ沢橋	24.50	1	PC橋	ボステンT桁	11.00	1993	29	II	II	C(3)	横桁	漏水・遊離石灰
9	0023	蛇追ヶ橋	17.20	1	PC橋	プレテンT桁	8.00	1992	30	II	II	C(3)	下部工	ひびわれ、漏水・遊離石灰
10	0025	早川橋	23.00	1	PC橋	ボステンT桁	5.00	1984	38	II	II	C(3)	主桁	ひびわれ、漏水・遊離石灰、うき
11	0003	辻堂橋	2.90	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	9.00	1970	52	III	II	C(3)	頂版、底版	(架替済) ひびわれ、剥離・鉄筋露出
12	0001	道割堂橋	7.45	1	PC橋	プレテン床版	5.45	1970	52	I	II	C(3)	主桁	剥離・鉄筋露出
13	0005	本寺八幡橋	2.60	1	RC橋	RC 中実床版	6.50	1980	42	II	II	C(3)	床版、下部工	ひびわれ、剥離・鉄筋露出
14	0035	太鼓田橋	2.30	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	9.00	2003	19	-	II	C(3)	頂版、側壁	剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
15	0004	本寺上橋	2.70	2	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	3.80	1980	42	II	II	C(3)	頂版、側壁	ひびわれ、漏水・遊離石灰
16	0033	樋下橋	2.11	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	5.10	2003	19	-	II	C(3)	頂版、側壁	漏水・遊離石灰、うき、変形・欠損、その他(隙間)
17	0014	赤枝橋	3.50	1	RC橋	RC 中実床版	3.30	1975	47	II	II	C(3)	下部工	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、変形・欠損
18	0032	花川橋	5.50	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	4.00	2009	13	-	II	C(3)	頂版	漏水・遊離石灰
19	0027	水上橋	14.56	1	PC橋	プレテン中空床版	5.00	1991	31	I	I	B(2)	床版、下部工	ひびわれ、漏水・遊離石灰
20	0011	金上橋	7.74	1	PC橋	プレテン床版	7.00	1990	32	I	I	B(2)	主桁、下部工	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、その他
21	0006	横達橋	2.00	1	RC橋	RC 中実床版	4.30	1965	57	I	I	B(2)	床版、下部工	剥離・鉄筋露出、うき、変形・欠損
22	0029	長峯大橋	19.00	1	PC橋	プレテン床版	7.50	2004	18	I	I	B(2)	主桁、床版、下部工	ひびわれ、漏水・遊離石灰、その他
23	0017	金屋橋	21.73	1	PC橋	プレテンT桁	5.02	1978	44	I	I	B(2)	主桁、横桁、床版、下部工	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、うき、変形・欠損
24	0021	古観音橋	45.50	1	PC橋	ボステンT桁	8.00	1993	29	II	I	B(2)	主桁、横桁、床版、下部工	(一部補修済) ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
25	0016	中島橋	24.70	1	鋼溶接橋	H形鋼(非合成)	5.00	1982	40	I	I	B(2)	主桁、横桁、対橋脚、床版、下部工	腐食、防食機能の劣化、ひびわれ、漏水・遊離石灰、変形・欠損
26	0024	日橋川橋	81.16	2	鋼溶接橋	I桁(不明)	7.50	1970	52	II	I	B(2)	床版、下部工	(補修済) ひびわれ、漏水・遊離石灰
27	0015	無名橋	3.80	1	RC橋	RC 中実床版	7.20	1989	33	I	I	B(2)	床版、下部工	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、変形・欠損
28	0028	長峯中橋	9.80	1	PC橋	プレテン床版	7.50	2000	22	I	I	B(2)	床版、下部工	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰
29	0002	仁渡橋	2.42	1	RC橋	RC溝橋 (BOXカルバート)	7.00	2018	4	II	I	B(2)	頂版、側壁、底版	(架替済) 剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、変形・欠損
30	0034	西前田橋	18.39	1	PC橋	プレテン中空床版	5.00	1997	25	-	I	B(2)	床版、下部工	漏水・遊離石灰、変形・欠損
31	0007	前下り橋	4.00	1	RC橋	RC 中実床版	4.09	1965	57	I	I	B(2)	床版、下部工	ひびわれ、剥離・鉄筋露出、漏水・遊離石灰、変形・欠損
32	0031	長峯東橋	9.40	1	PC橋	プレテン床版	7.00	1993	29	-	I	A(1)	主部材	-
33	0030	仁王橋	10.00	1	PC橋	プレテン床版	4.00	2019	3	-	I	A(1)	主部材	-

区分	状態	健全度 ランク	判定区分	備考	該当橋梁数	割合	
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態	A(1)	健全	損傷が認められない	2橋	6%
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態	B(2)	対策不要	損傷が軽微で補修を行う必要がない	13橋	39%
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、 早期に措置を講ずべき状態	C(3)	状況に応じ早めに対策	状況に応じて補修を行う必要がある	17橋	52%
			D(4)	早急に補修必要	速やかに補修を行う必要がある	1橋	3%
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、 緊急に措置を講ずべき状態	E(5)	緊急対応の必要	緊急対策の必要がある	0橋	0%

定期点検による判定区分と修繕計画健全度ランクの関係

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期 (5. 対策内容と実施時期)
 (・ 構造物の諸元、直近の点検結果及び次回点検年度)
 (・ 対策内容、対策の着手・完了予定年度)
 (・ 対策に係る全体概算事業費) (6. 対策費用)

様式1-2に、直近10年間の概ねの計画を示します。

補修工法の選定にあたっては、NETIS等に登録され活用促進技術に指定されている新技術について、従来工法とのライフサイクルコストの比較検討を行った後に積極的に採用し、維持管理費用の縮減や再劣化防止等に努めていきます。

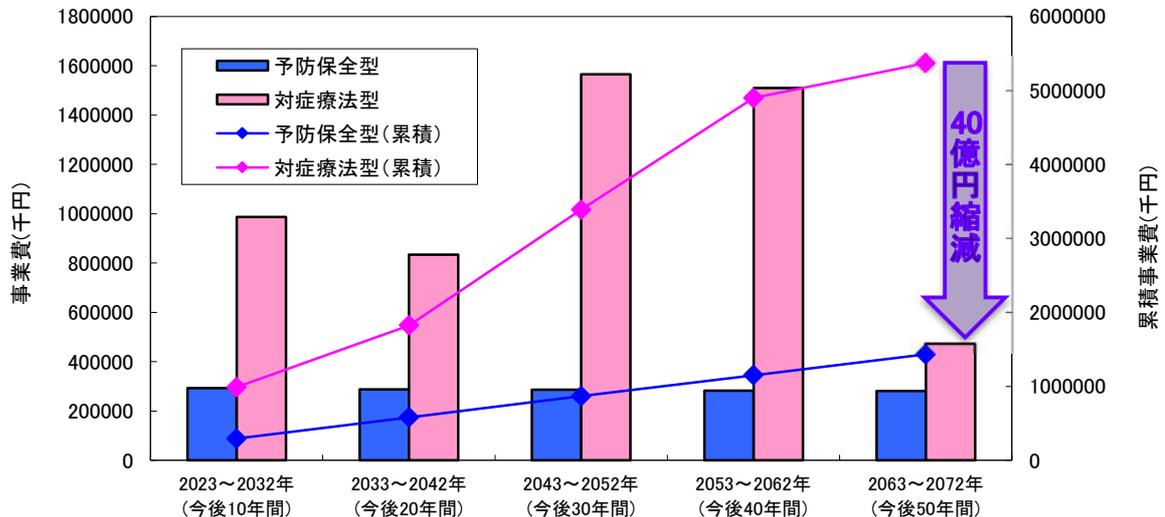
- 活用促進技術に指定されている新技術の例
 - ・ 鋼部材の塗装 (錆転換型防食塗装)。
 - ・ コンクリート部材の補修 (断面修復工、表面含浸工)。
 - ・ 伸縮装置の止水・漏水対策、取替。

様式1-2、優先順位一覧表に概算の事業費を示します。

6. 長寿命化修繕計画による効果

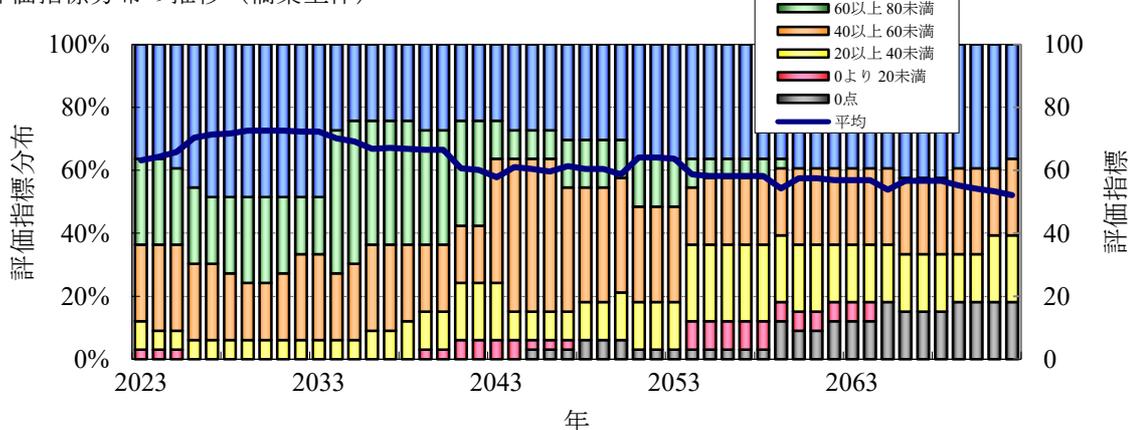
磐梯町が管理する橋梁について、点検結果を基に今後50年間の予算シミュレーションを行い、以下の結果が得られました。

長寿命化修繕計画を策定する33橋について、年間の予算制約額を0.30億円とし今後50年間の事業費を比較すると、従来の対症療法型が54億円に対し、長寿命化修繕計画の実施による予防保全型が14億円となり、コスト縮減効果は40億円 (74%減) となります。



また、計画的な修繕を実施することにより、良好な健全度を維持することが可能となり、損傷に起因する通行制限等が減少し、道路の安全性及び信頼性が確保されます。

評価指標分布の推移 (橋梁全体)



7. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

1) 計画策定担当部署
磐梯町 建設課 建設係 tel:0242-74-1218

2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者 (令和4年3月実施)
日本大学 工学部 土木工学科 教授 岩城 一郎

【様式1-2】

5. 対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期（直近10年間）

年間予算額：0.30億円

凡例： ←→ 対策を実施すべき時期、補修部材及び補修内容を示す。

橋梁名	道路種別	路線名	橋長(m)	架設年度	供用年数	最新点検年次	最新点検結果	対策の内容・時期														合計(千円)※
								R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14					
立石跨線橋	2級	源橋梵字清水線	23.90	1998	25	R3	II				点検	点検			←→	点検	点検		21,201			
狐松橋	2級	源橋梵字清水線	7.02	1965	58	R4	III				点検	←→	←→						7,840			
早川橋	その他	馬場金上壇線	23.00	1984	39	R3	II				点検	←→	←→				点検		54,071			
道割堂橋	その他	道割堂線	7.45	1970	53	R3	II				点検						点検		5,937			
宮西橋	1級	磨上下西連線	4.30	1975	48	R3	II				点検					←→	点検		17,322			
村西橋	1級	磨上下西連線	2.78	1975	48	R3	II				点検			←→			点検		12,028			
薬師橋	1級	大寺小中野線	24.20	1988	35	R3	II				点検						点検	←→	19,418			
小柴坂橋	その他	小柴坂線	62.30	1992	31	R3	II				点検						点検					
蛇追ヶ橋	その他	小柴坂線	17.20	1992	31	R3	II				点検						点検					
七ツ森橋	2級	大曲七ツ森線	10.40	1975	48	R3	II				点検						点検					
滝ノ沢橋	その他	小柴坂線	24.50	1993	30	R3	II				点検						点検					
辻堂橋	1級	大寺小中野線	2.90	1970	53	R3	II				点検						点検					
本寺八幡橋	その他	数万堂線	2.60	1980	43	R3	II				点検						点検					
太鼓田橋	その他	太鼓田線	2.30	2003	20	R4	II				点検						点検					
本寺上橋	その他	本寺下寺西線	2.70	1980	43	R3	II				点検						点検					
樋下橋	その他	樋下1号線	2.11	2003	20	R4	II				点検						点検					
赤枝橋	その他	石田赤枝橋	3.50	1975	48	R3	II				点検						点検					
花川橋	その他	本寺上1号線	5.50	2009	14	R4	II				点検						点検					
金上橋	2級	鬼越山神社線	14.56	1991	32	R3	I				点検					点検	点検					
水上橋	1級	磨上下西連線	7.74	1990	33	R3	I				点検						点検					
横達橋	2級	横達大寺線	2.00	1965	58	R3	I				点検						点検					
長峯大橋	その他	長峯滝ノ原線	19.00	2004	19	R3	I				点検						点検					
金屋橋	2級	石生金屋線	21.73	1978	45	R3	I				点検						点検					
古観音橋	その他	小柴坂線	45.50	1993	30	R3	I				点検						点検					
中島橋	その他	入倉下西連線	24.70	1982	41	R3	I				点検						点検					
日橋川橋	その他	大寺八田野線	81.16	1970	53	R3	I				点検						点検					
無名橋	1級	一ノ沢法正尻線	3.80	1989	34	R3	I				点検						点検					
長峯中橋	その他	長峯滝ノ原線	9.80	2000	23	R3	I				点検						点検					
仁渡橋	その他	磐梯中学校線	2.42	2018	5	R3	I				点検						点検					
西前田橋	その他	町屋落合線	18.39	1997	26	R4	I				点検						点検					
前下り橋	その他	大松林線	4.00	1965	58	R3	I				点検						点検					
長峯東橋	2級	源橋梵字清水線	9.40	1993	30	R3	I				点検						点検					
仁王橋	2級	本寺大平線	10.00	2019	4	R3	I				点検						点検					
合計 (千円) ※								37,870	22,139	29,351	29,041	28,895	30,630	30,571	29,930	29,204	25,503					

※1：費用は工事費のみを計上しているため、点検費・設計費については別途計上すること。

※2：工事費は概算であるため、工事発注の際は別途積算すること。